

# 大切なわが家を守るため、考えてみませんか？ 住宅の「地震対策」

市では、地震に対する安全向上のため、以下の工事を実施する人に対して、費用負担を軽減するために補助金を交付します。

## 1 既存木造住宅耐震診断無料診断（一般診断法）

〈要申込〉

対象住宅＝昭和56年以前に着工された2階建て以下の木造の一戸建て住宅・長屋・共同住宅であり、250㎡以下  
 募集件数＝6件 ※9月中旬時点（申請書類が全てそろっている人で、先着順）  
 申込期間＝令和3年1月29日（金）まで（土・日曜、祝日と年末年始を除く）

## 2 既存木造住宅耐震改修工事補助金

〈要申込〉

対象住宅＝昭和56年5月31日以前に着工された3階建て以下の木造の一戸建て住宅・長屋・共同住宅であり、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満であるとされた住宅で、改修計画ができていないもの  
 募集件数＝2件 ※9月中旬時点（申請書類が全てそろっている人で、先着順）  
 補助金額＝耐震改修工事の工事費用の3分の1（補助限度額は50万円）  
 申込期間＝11月30日（月）まで（土・日曜、祝日を除く）  
 工事期間＝補助金の交付決定日以降に契約・着手～12月末日までに完了する工事

## 住宅相談窓口

住宅等の耐震化対策や高齢者のバリアフリー対策の推進、悪質リフォーム業者等によるトラブルの防止をすすめるため、無料相談窓口を開設します。

相談内容＝住まいの新築・改修・耐震化・バリアフリー等に関する相談や、その他住まいに関する法律・制度等についての相談

相談日時＝毎月第3水曜13時30分から 市役所内の会議室にて30分程度（来年3月を除く）

募集件数＝毎月5件 対象＝市内に居住の人か、市内に土地か家屋を有する人

申込期間＝開催月の第1水曜～第2水曜（土・日曜、祝日を除く）

## 【共通事項】

申込＝上記の申込期間の9時～17時に、必要書類と印鑑を持って、入札検査課 施設整備室（308番窓口）へ提出  
 必要書類＝市ホームページからダウンロードするか、入札検査課 施設整備室（308番窓口）でも配布します  
 詳細・問合せ＝入札検査課 施設整備室（市役所3階308番窓口 内線646・647）

# 乳がん・子宮がん検診 受けていますか？

<p><b>乳がん</b> 女性に一番多いがん</p> <p>40～50歳代をピークに発症や死亡が増えています。多くの人はしこり（乳房や脇の下）によって発見されますが、乳頭から血液が出たり湿疹やただれによって見つかることもあります。</p> <p>昨年度、市のがん検診（マンモグラフィ）から精密検査になった人のうち早期の乳がんが8人発見されました。早期がんは、自覚症状がほとんどありません。早期に発見され治療を受ければ治りやすいと言われています。</p> <p>自己検診で見つかるがんは1cmを超えてからのしこりの発見が多いのですがマンモグラフィ（国が推奨）は「しこり」になる前の数ミリ程度の乳がんをとらえることができます。ぜひ、検診を受けてください。</p> <p>◆市の乳がん検診＝対象は40歳以上。2年に1回。</p>	<p><b>子宮がん</b> 若い女性がかかりやすいがん</p> <p>20～30歳代の女性で子宮頸がんの発症や死亡が増えています。</p> <p>がん検診では、がんになる前の「前がん病変」や、ごく初期のがんを発見できます。この状態で発見出来れば「円錐切除」という狭い範囲の簡単な手術で治す事ができます。妊娠や出産も可能です。</p> <p>昨年度、「前がん病変」（異型細胞）が見つかった人は精密検査になった人のうち6人でした。若いからがんは、大丈夫と安心していませんか。定期的に検診を受けましょう。</p> <p>◆市の子宮がん検診＝対象は20歳以上。2年に1回。</p>
<p>まずは、受診票の発行を「さんて郡山」に申し込んでください。</p>	
<p>大和郡山がん検診 <input type="button" value="検索"/></p>	

## ◆無料クーポン券は、ご利用いただけましたか

対象者の人に「無料クーポン券」等を5月下旬に個人通知しました。

乳がん検診無料クーポン対象者（女性のみ）		子宮がん検診無料クーポン対象者（女性のみ）	
年齢	生年月日	年齢	生年月日
40歳	昭和54年4月2日～昭和55年4月1日生	20歳	平成11年4月2日～平成12年4月1日生

実施期間＝令和3年2月末日まで

※実施期間終了間際には、予約状況により希望の医療機関で受診できないことがありますので早めの受診をお勧めします。

※転入等で、無料クーポン券がない人は、ご連絡ください。

【共通】 申込・問合せ＝保健センター「さんて郡山」 ☎58-3333